

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

看護ケアのための便秘時の大腸便貯留アセスメントに関する診療ガイドライン

日本看護科学学会 看護ケア開発・標準化委員会

看護ケア開発・標準化委員会診療ガイドライン作成グループ 2023 年 9 月 15 日発行

Minds 掲載 有

■1 大黃甘草湯、麻子仁丸、大建中湯など

疾患:

便秘症

有効性に関する記載ないしその要約:

『4. アセスメントに基づく看護ケアの選択』の 3)食事や薬剤調整(3)薬物治療 の項目に以下の記載がある。

『瀉下薬または便秘薬(下剤)ともいう。各薬剤の種類、作用、販売名または一般名を表 6 にまとめた』

備考:

表 6 便秘薬の種類、作用、販売名 の中に大黃甘草湯、麻子仁丸、大建中湯など と記載がある。